

授 業 科 目 名	教養講義（経済経営数学）	※選 択	開講年次	1	単位数	2
科目区分	基本科目					
サブ タイトル	経済学及び経営学のための数学		担当者	桑原 優美		
講義概要	<p>【概要】高校数学 A・B・II レベルの確率、数列、ベクトル、微分、積分は経済学、経営学、ファイナンス、マーケティングで必要となる。本講義では、それらを解説と例題を通じて習得する。講義にはプロジェクターを用いる。</p> <p>【到達目標】経済学、経営学、ファイナンス、マーケティングで必要となる高校レベルの数学をマスターすることを目標とする。</p>					
履修条件	特になし。しかし、中学数学及び数学基礎で扱うレベルの高校数学の式の計算、方程式、関数を理解しているものという前提で授業を行う。ただし、数学基礎の履修は条件ではない。経済経営数学のみの履修は可能である。					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】使用しない。プロジェクターを用いて講義を行い、講義に使用した PDF ファイルは、授業用ウェブサイト(<a href="http://sites.google.com/site/masamikuwabaraclassroom/">http://sites.google.com/site/masamikuwabaraclassroom/</a>)からダウンロードして閲覧、印刷が可能である。</p> <p>【参考書】上記授業用ウェブサイトにて紹介する数学の入門書や啓蒙書、高校数学のウェブサイト</p>					
授業回数	内容					
1	授業の進め方及び評価方法の確認、集合論					
2	組合せ論、確率					
3	期待値、数列とは何か					
4	数列の和					
5	階差数列、群数列、数列の和と一般項					
6	ベクトルとは何か、点と座標、内分点、外分点、ベクトルの演算					
7	平行と垂直、ベクトルの平行、ベクトルの分解					
8	ベクトルの成分、ベクトルの垂直と内積、ベクトルの内積の性質					
9	中点と重心、位置ベクトル					
10	直線の方程式と円の方程式、ベクトル方程式					
11	微分係数、極限值と導関数					
12	接線の方程式、関数の増減、極大値と極小値、最大値と最小値					
13	方程式の実数解の個数、不等式の証明					
14	不定積分、不定積分と面積					
15	定積分、定積分と面積					
評価方法	定期試験のみで評価する。配点は1問10点。問題数は10問。問題は授業で解説した例題から出題する。持ち込みは可である。ただし、試験の答案では、途中式がないものは正答であっても得点にならない。					
評価基準	定期テストの結果が60点以上70点未満はC評価、70点以上80点未満はB評価、80点以上はA評価となる。					
その他	講義で使用するファイルはウェブサイトから入手できるが、配布は行わない。資料を入手するためだけに授業中入室してすぐに退室し、授業に参加しないということが発生しないようにするためである。 ※Eカリキュラム（経営法）コースの学生は選択必修科目					